

福 議 委 号
平成26年10月16日

福島町議会議長 溝 部 幸 基 様

総務教育常任委員会
委員長 熊 野 茂 夫

所管事務調査報告書の提出について

本委員会は、福島町議会定例会9月会議(平成26年9月19日)において決定した、休会中の所管事務調査を終えたので、会議条例第147条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

調査事件	(1) 第5次福島町総合計画の基本計画等について
調査期間	平成26年10月1日(1日間)
出席委員	委員長 熊野茂夫 副委員長 川村明雄 委員 佐藤孝男 委員 滝川明子 委員 平野隆雄 委員 溝部幸基
欠席委員	なし
委員外議員	なし
出席説明員	なし
議会事務局職員	議会事務局長 石堂一志 議会グループ次長 前田勝広 議会グループ主事 沢田元気

[委員会意見]

調査事件 1 第 5 次福島町総合計画の基本計画等について

(平成 26 年 10 月 1 日調査)

本調査は、町が策定を進めている第 5 次福島町総合計画のうち基本計画（案）について、既に設置済みの調査特別委員会の調査を円滑に進めることを目的としたものである。具体的には、本委員会が所管する項目について、第 4 次福島町総合計画との比較、平成 25 年 12 月にまとめた総合計画に関する提言の反映状況及び目標のあり方を調査したところであり、その調査方法及び結果は次のとおりです。

【調査方法等】

本委員会が所管する第 4 次福島町総合計画の基本計画と第 5 次福島町総合計画の基本計画（案）の比較表に議会提言の内容を記載した資料を用意して、一項目ずつ最初に基本計画（案）の課題・施策で注意、確認する内容がないか確認し、次に議会提言の反映状況を確認し、次に目標の見える化（より分かりやすいものにする視点から）として、数値を目標とした「項目」の整理を行い、最後に総体の意見をまとめたものです。

【調査結果等】

調査結果は、次のとおりです。

基本計画の項目	基本計画（案）の課題・施策の確認	議会提言の反映状況の確認	基本計画（案）目標の項目整理案
1. 土地利用	○家庭菜園の具体的な実施方法を確認したい。 ○「様々な機能が集積した市街地の形成をめざします」とはどのような内容なのか確認したい。	○土地利用計画の策定についての記述を盛り込まなかった理由は何か。	①農地面積 (ha) ②家庭菜園普及件数 (件) ③水源涵養森林面積 (ha) ④市街地の遊休公有地面積 (㎡) ⑤旧 J R 未処分地面積 (㎡) ⑥松前矢後道立自然公園の意識啓蒙活動回数 (回)
2. 道路網	○「う回路などの検討を要請します」の具体	○松前半島道路に関する住民への P R ・整備	①沿線自治体と連携した地域高規格道路の年

	<p>的な内容を確認したい。(島前線・松浦峠線をどのようにしていくのかを含めて)</p> <p>○「町道の維持管理を計画的に行います」とあるが、国の公共施設等総合管理計画との関係はどのようになるのか確認したい。</p>	<p>意識の醸成についての記述を盛り込まなかった理由は何か。</p>	<p>間活動要請回数(回)</p> <p>②国道の年間整備要望活動回数(回)</p> <p>③道道の年間整備要望活動回数(回)</p> <p>④町道及び橋梁の年間の点検回数(回)</p> <p>⑤町道の除雪堆積スペースの面積(m²)</p>
3. 公共交通、情報発信	<p>○「合理的かつ利便性の向上を図ります」の意味を確認したい。</p> <p>○福島バス停の解体に関する記述はなくて良いのか確認したい。</p> <p>○町長の公約であるICT利活用の記述はなくて良いのか確認したい。</p>	○なし	<p>①町内の年間乗降者数(人)</p> <p>②デマンドバスの年間利用者数(人)</p> <p>③バス待合所箇所数(箇所)</p> <p>④高速通信サービス提供地以外の世帯数(世帯)</p> <p>⑤地上デジタルテレビ難視聴地域(地域)</p> <p>⑥テレビ共聴組合数(組合)</p>
4. 広報、広聴、情報発信	<p>○「福島町に適した基盤の構築を進めます」の内容を確認したい。</p> <p>○「パブリックコメントの意見が少ないなどの状況が見られます」と課題にあるが、これに対応した施策を考えなかったのか確認したい。</p> <p>○「ブログ、ツイッターを活用した町のPRを推進します」とあるが、今後町で行うのか確認したい。</p>	<p>○避難所のラジオ放送受信対策についての記述を盛り込まなかった理由は何か。</p>	<p>①町ホームページへの年間アクセス件数(件)</p> <p>②移動町長室の年間開催数(回)</p> <p>③福島町メールマガジン登録者数(人)</p> <p>④キャラクターを活用したイベントの年間参加回数(回)</p>
5. 消防・救急	<p>○関連する個別計画に「消防計画(渡島西部広域事務組合)」を記述しない理由を確認したい。</p> <p>○自警団関係を課題や施策に記述しない理由を確認したい。</p>	<p>○救急業務の周知についての記述を盛り込まなかった理由は何か。</p>	<p>①防火意識高揚イベントの年間開催数(回)</p> <p>②住宅用火災警報器の設置率(%)</p> <p>③消防団員数(人)</p> <p>④年間火災発生件数(件)</p> <p>⑤救急救命士人数(人)</p>
6. 防災	<p>○避難路関係を課題や施策に記述しない理由を確認したい。</p>	○なし	<p>①防災活動を行っている自主防災組織数(組織)</p> <p>②年間防災訓練回数(回)</p> <p>③がけ地等危険区域(箇所)</p> <p>④防災備蓄品・資機材の整備率(%)</p>
7. 交通安全・防犯	○なし	○なし	①年間の人身交通事故

			発生件数 (件) ②年間犯罪件数 (件)
8. コミュニティ	○「地域に適したコミュニティ活動の推進を図ります」の内容を確認したい。 ○町内会館等の維持方法や統合・廃止等について・・・とあるが、町内会の再編とリンクしているのか確認したい。	○なし	①地域生活学級年間開催数 (回) ②コミュニティ組織数 (団体) ③町内会館等施設数 (施設)
9. 幼児教育、学校教育	○教育委員会制度の改正に関する視点を課題や施策に記述しない理由を確認したい。 ○各学校施設の長寿命化計画を策定し・・・とあるが、国の公共施設等総合管理計画との関係はどのようになるのか確認したい。 ○地元高校の存続対策は十分なのか確認したい。	○教育の基本となる条例制定の検討についての記述を盛り込まなかった理由は何か。	①幼稚園数 (園) ②臨時教員の配置数 (人) ③ALTの配置 (人) ④学校給食センターの地元食材の使用割合 (%) ⑤福島商業高等学校への地元中学生の入学率 (%) ⑥福島商業高等学校への町外中学生の入学数 (人)
10. 生涯学習	○「ボランティアコーディネート仕組みづくりを検討します」の内容とボランティア団体の定義を確認したい。 ○「地域の特色を生かした独自性のある成人記念行事を開催します」の内容と成人記念行事を福島地区と吉岡地区の隔年で行う必然性を確認したい。 ○10代～30代の事業計画は十分なのか確認したい。	○なし	①ボランティア活動団体数 (団体) ②町民の図書室登録者数の割合 (%) ③町民一人当たりの図書年間貸出冊数 (冊) ④図書ボランティア人数 (人) ⑤各種学級等年間開催数 (回)
11. スポーツ	○なし	○なし	①体育館の年間利用者数 (人) ②町民プールの年間利用者数 (人) ③ファミリースポーツ公園の年間利用者数 (人) ④生涯学習指導者登録者人数 (人) ⑤スポーツ団体数 (団体) ⑥総合型スポーツクラブ数 (団体)
12. 芸術文化、文化財	○「館崎遺跡で発掘された埋蔵文化財を保存	○なし	①文化団体数 (団体) ②芸術文化年間イベン

	<p>するため、既存町有施設の改修等を検討します」とあるが、具体的な施設名称を明示しない理由を確認したい。</p>		<p>ト開催数（回） ③芸術文化年間講座開催数（回） ④文化祭への参加団体数（団体） ⑤文化財保存に係る長期プランの策定（年）</p>
13. 地域間交流、国際化	○なし	<p>○産学官連携の検証についての記述がどこにあるのか確認したい。 ○町HPを活用した人材育成に繋がる情報提供・収集についての記述を盛り込まなかった理由は何か。</p>	<p>①友好市町相互交流参年間加人数（人） ②ふるさと会へのHP等を活用した年間情報発信回数（回） ③外国人年間来客数（人）</p>
14. まちづく活動、男女共同参画	○男女共同参画の本来目的をどのように整理して、施策を検討したのか確認したい。	○なし	<p>①NPO法人登録数（団体） ②町民提言・提案件数（件） ③各種審議会の女性委員の登用割合（%） ④役場の女性管理職登用人数（人）</p>
15. 行政運営	<p>○第4次福島町行財政改革大綱の策定状況を確認したい。 ○「システム運用以外の業務についても、職員間で事務改善による効率化を図ります」とあるが、どのようなものを想定しているのか確認したい。 ○「国の公共施設等総合管理計画の内容等を調査します」とあるが、何をどのように調査するのか確認したい。 ○政策評価・施策評価の関係を課題や施策に記述しない理由を確認したい。</p>	○なし	<p>①役場の職員数（人） ②指定管理者制度導入施設（施設） ③独自職員研修の年間開催数（回） ④公共建築物の耐震化率（%） ⑤公用車の保有台数（台）</p>
16. 財政運営	<p>○「財政運営基準（仮称）を検討します」の内容を確認したい。 ○「政策と財政の共存」の「共存」は「両立」が妥当と考えるが、どうか。 ○まちづくり行財政推進プランの策定状況を確認したい。 ○「使用料及び手数料等の適正化に努めます」の具体的な内容を確認したい。 ○「徹底したコストの</p>	○健全化判断比率の管理（公表）についての記述を盛り込まなかった理由は何か。	<p>①町税収納率（%） ②経常収支比率（%） ③実質公債費比率（%）</p>

	見直し・・・」の具体的な内容を確認したい。		
17. 広域行政	○なし	○広域行政の検討についての記述を盛り込まなかった理由は何か。	①共同で行っている事務・事業の件数（件） ②他の自治体が設置する公の施設で当該自治体と同料金で利用可能な施設の数（施設）

【意見交換の結果】

第5次総合計画の策定に関する議会の対応は、平成25年度定例会3月会議において「第5次福島町総合計画策定に関する調査特別委員会」を設置し、精力的かつ集中的な調査を行う予定でしたが、現在までの調査は5月19日1回だけの開催（基本構想案の審議）で中断しています。この時の策定スケジュールでは7月中旬に基本計画（案）、実施計画（案）及び各種関連計画策定の進捗状況を説明・審議を行い、定例会9月会議に計画案を議案として提案する予定としていました。この間、町長は定例会8月会議の冒頭挨拶の中で、定例会9月会議への提案が間に合わないため、定例会12月会議に提案するとして陳謝しています。しかし、庁舎内に組織した策定検討のためのワーキングチーム及び策定委員会の審議経過（内容）やきちんとした財源計画を持たないまま諮問会議・住民説明会に臨み、パブリックコメントを実施するなど、その手法に大いに疑問があります。また、関連した議決すべき重要な計画で9月までに議会に示す予定であった、福島町まちづくり行財政推進プラン、福島町地域マリンビジョン計画、第4次定員管理適正化計画、福島町公共施設維持保全計画も未だ示されていない状況にあります。これら計画と総合計画の整合性及び本調査並びに経済福祉常任委員会における調査意見等の整理、加えて、大幅な事業の見直しを要する財源計画の精査、その内容を諮問機関・住民へ説明し一定の理解を得る等の作業（手続き）期間を判断し、定例会12月会議において議案として審議するには難しいとの意見に集約されました。

以上から、町においては全体の策定スケジュールを再検討し、今国会が重要テーマとしている「地方創生」の取り組みをチャンスととらえ、第5次総合計画の策定に向けて精力的に取り組むことに期待します。